

北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流

青森県における環境の現状・課題、対策について

1 大気環境

<現状と課題>

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質は環境基準を達成したが、光化学オキシダントは6局全てで環境基準不達成。これは、成層圏オゾンの沈降やアジア大陸からの越境汚染の影響によるものと考えられている。

<対策>

常時監視測定を強化継続するとともに、大気汚染防止法等に基づき各種規制を実施するとともに、八戸地域の16企業と公害防止協定を締結している。

2 水質環境

<現状と課題>

平成18年度において、人の健康の保護に関する項目は、47河川、5湖沼、3海域で調査を行い、1河川において温泉等の自然由来によるものと考えられるヒ素が環境基準を超過した。生活環境の保全に関する項目は、64河川、7湖沼、8海域で調査を行い、環境基準の達成状況は96%と横ばいの状況で推移している。

<対策>

下水道や合併処理浄化槽等の生活排水処理施設整備の促進や生活排水対策の普及啓発を実施している。また、排水規制の強化やきめ細かな指導等を実施している。

3 廃棄物

<現状と課題>

一般廃棄物は、平成18年度の県民1人1日あたりの排出量が1,131gで前年比約0.7%の減少、リサイクル率が12.3%で前年より0.5ポイント上昇した。

平成18年度の不法投棄発見件数は前年度比96件の減少で162件、解決件数は前年度比62件の減少で108件となっている。

<対策>

「青森県循環型社会形成推進計画～人と地域と自然の環をめぐらして～」に基づき、基本方針と処理目標を定め、関係者の責任と役割分担のもと各種施策の総合的かつ計画的な展開を図っている。また、減量化・リサイクルの促進と監視・指導等の強化により、不適正処理の防止に努めている。

さらに岩手県との県境における不法投棄事案については、平成24年度までに原状回復を推進することとしている。

4 地球環境保全

<現状と課題>

2004年の本県の温室効果ガス排出量は17,716千t-CO₂となっており、1990年比で19.5%の増加となっている。県民一人あたりの排出量は12.2t-CO₂で全国の10.6t-CO₂の1.15倍となっている。

<対策>

2010年の排出量を1990年度比で6.2%削減することを目標とし、県民・事業者・行政のパートナーシップのもと地球温暖化対策を推進するとともに、対策推進委員会を設置し、計画の進捗状況の

評価と具体的な推進方策の検討を行っている。

5 自然環境

<現状と課題>

豊かな自然環境を後世に永く伝えるため、自然公園法等に基づく自然公園や自然環境保全地域、鳥獣保護区等に指定し保全。世界自然遺産白神山地については、基本構想に則り保護対策を推進しているほか、白神山地憲章を制定し、貴重な生態系の保護に努めている。

<対策>

世界自然遺産会議（第1回：平成12年鹿児島県、第2回：平成17年青森県、第3回：平成19年中国四川省）での会議宣言に則り、世界遺産の保護・保全に努めるとともに、自然公園指導員や白神山地遺産地域巡視員を配置し、マナー普及を通して豊かな自然環境の維持に努めることとする。